

令和元（2019）年度個人研究費研究課題名一覧（看護学部看護学科）

| 学科 | 職位 | 氏名 | 研究課題名 |
|------|-------|--|---|
| 看護学科 | 教授 | 長尾 光城 | 運動器疾患における代替医療の有効性の研究 |
| | 教授 | 兒玉 拓 | 運動負荷による気管支喘息の発症 熱中症発症時での運動機能への影響 |
| | 教授 | 加藤 知可子 | 精神障がい者家族支援に関する家族の情報へのニーズに基づく心理教育に関する検討 |
| | 教授 | 伊藤 純 | タイ東北部におけるかかりつけ医と腎臓専門医間の遠隔医療システムの効果 |
| | 教授 | 富安 俊子 | A 看護学生の母性看護学実習におけるほめ言葉の研究 B 女子大生の子宮がん検診の受診阻害因子の対策検討 C 大学生に対する出生前診断の認識調査 D 育児期の母親への他者からかけられた言葉による感情の変化 E 乳がんの知識と予防行動に関する研究 |
| | 教授 | 森田 恵子 | 発達障がいのある子どもの治療教育的遊び活動—看護師と保育士との協働による実践評価 |
| | 教授 | 柴山 健三 | 精神性発汗量測定による術後早期離床患者への非侵襲的負荷評価応用に関する研究（その1） —健康成人への起立時と歩行時の精神性発汗量と心拍数・唾液アミラーゼ活性間の比較— |
| | 准教授 | 白神 佐知子 | 急性期病棟における臨床実習指導者が感じる自己役割に対するジレンマ |
| | 准教授 | 大植 由佳 | A シミュレーション教育に関する研究 B 看護基礎教育におけるアクティブラーニングに関する研究 C 職業アイデンティティに関する研究 |
| | 准教授 | 尾崎 八代 | 心の健康を自分自身で維持できる予防的支援プログラムの開発 |
| | 准教授 | 石井 俊行 | 高齢透析患者の便秘尺度開発に向けた基礎研究 |
| | 講師 | 大植 崇 | 在留外国人の多文化共生と健康増進を目指した国際健康教室の効果 |
| | 講師 | 塩 霧都恵 | 看護教育における看護教員の倫理的問題と対処 |
| | 講師 | 中村 朋子 | 子宮頸がん・乳がんの予防に関する研究 妊娠分娩産褥期各期における父親への育児支援 女子大生における月経に伴う困難症状と医薬品の研究 |
| | 講師 | 東 久子 | A. SIM教育実践に関する研究 B. 看護小規模多機能型介護における見取りの現状と課題 C. 地域コミュニティ開発に関する研究—コミュニティカフェを通して D. ギャミンググループ開設の条件と課題 |
| | 講師 | 細川 愛美 | エビデンスに基づく養護学の確立に向けた実践的研究の検討 —学校におけるヒヤリ・ハット発生時の教員や養護教諭の役割の関連— |
| | 講師 | 小島 光華 | 1. 極低出生体重児をもつ保護者の就学(就園)猶予を考える時期とその要因 |
| | 講師 | 松村 あゆみ | 看護学生のヘルスリテラシーと主観的健康統制感に関する研究 |
| | 講師 | 秋山 正子 | A. 在宅療養を支援する多職種で共有する情報 B. 終末期がん療養者に対する訪問看護師の対応とGood Death - 終末認識による分析 |
| | 助教 | 藤後 栄一 | 地域包括ケアを支えるためのICTの活用に関する研究 精神看護学実習前後における学生の認知機能が脳波に与える影響 |
| 助手 | 朝山 律子 | 1. 医療療養型病院の医療安全に関して看護・介護職に対する教育のあり方 2. 臨床実習における指導方法 | |